

明高だより

東北大学オンライン授業

八月十七日(月)、理数探究類型一年生を対象に、東北大学の田中香津生助教授によるZOOMオンライン授業を行いました。

「宇宙線探索ワークショップ」というテーマで、宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線により、火山内部の把握、ピラミッドの内部構造の解析が可能であること等多くの発見と学びがありました。その中で、十年後は0.01%の確率で宇宙人を認知できるようにするという科学的予見に生徒達は衝撃を受けていました。「星の作られ方」

「宇宙人は存在するか」といった質問に科学的に答えたいいただきました。



スケッチ合宿

八月九日(土)一日の二泊三日で神鍋高原においてスケッチ合宿を行い、美術科一・二年生と美術工芸部の生徒が参加しました。

観察力や表現力を高めることや作品完成に向けて集中力を養うこと、相互に切磋琢磨しつつ一斉に取り組み連帯感を培うこと等を目的に生徒達は見たこと・感じたこと・考えたことを日常とは異なる自然豊かな空間に身を置いていました。



二日目の夜には一年生と二年生に分かれて合評を行い、意識の高い生徒達が集うだけあって活発な意見交換が行われ、大いに刺激を受けたようでした。

学校説明会

新型コロナウイルス感染拡大を受け、延期していた学校説明会を九月五日(土)に開催しました。

校長挨拶、

学校概要説明の後生徒会が明高の一日・名物先生の授業や特色ある授業・楽しい学校行事・部活動等の動画を手作りで作成して明高の魅力と特色を紹介し、生徒会なんでも相談室を設けて様々な質問に答えました。終了後は施設見学や部活動見学を行いました。



理数探究類型では、物理分野の重心を定める体験授業や同類型の生徒による体験講話も行いました。



今回は中学生と教員のみでの参加とさせて頂いていただきましたが、「明高の特色がよく分かった」「明高生が活き活きとしていて学校生活の充実ぶりがうかがえた」「ぜひ入学したい」などの感想をいただきました。

未来をひらく少年会議

スマートフォンをはじめとするインターネット利用端末の急速な普及や新型コロナウイルス感染予防のための休校措置によりオンライン授業が導入される中、インターネットに起因する様々な問題やネットトラブルが発生しています。そこで、その被害を未然に防ぐ取組について青少年がともに考えることで適切なインターネット利用についての意識醸成を図る目的で、東播磨青少年本部が第四十一回未来をひらく少年会議を八月十六日(日)にオンラインミーティング形式で開催しました。

本校からは生徒会長はじめ二名が参加し、インターネットの制限をかける時のメリットとデメリット、家族で使用ルールを設定することの大切さ等、ネットトラブルを未然防止するため必要なことについて理解を深め、全校生に注意喚起したいと感想を述べました。



県総体代替大会結果

新型コロナウイルス感染拡大を受けて中止となった県高校総体ですが、一部の競技で代替大会が開催されました。その主な結果は次の通りです。

準優勝

男子ハンドボール部

第三位

女子ハンドボール部

男子ソフトボール部

サイエンス部合宿

ひょうごスパーハイスクール事業の一環として、サイエンス部が県立いえしま自然体験センターで夏合宿を行い、海の生物観察・実験、ウミホタルや星の観察・環境学習等に取り組みました。



明石高校ホームページ



[明石高校]で検索

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~akashi-hs/>
活動の内容は兵庫県立明石高等学校ホームページでご覧になれます